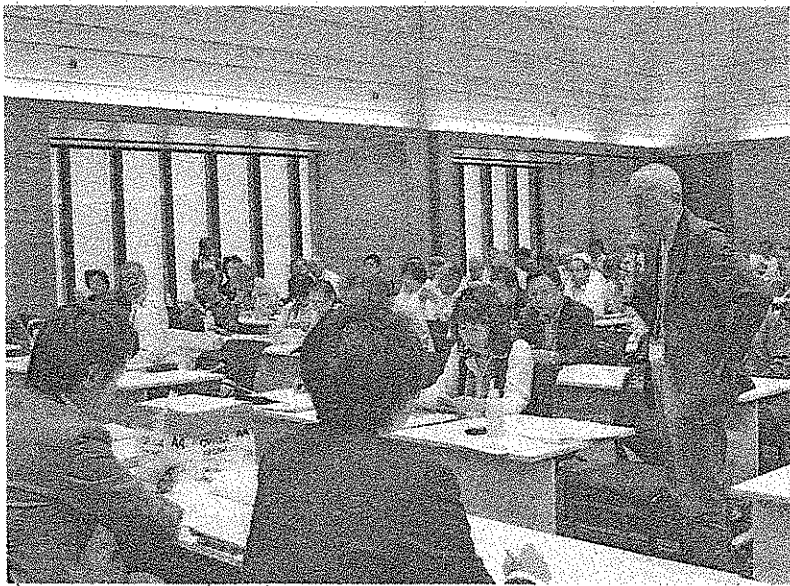


# 生活保護改悪 命奪う

## 全生連・社保協が政府交渉



安倍・自公政権が生

活保護制度の大改悪を  
狙う中、全国生活と健  
康を守る会連合会（全  
生連）と中央社会保障  
推進協議会（中央社保  
協）は28日、国会内で  
保護基準引き下げと就  
労強要の中止、生活保  
護法改悪案の撤回を求  
めて厚生労働省に交渉  
しました。全国から1  
60人余りが参加しま

厚生労働省の担当者に  
生活保護利用者の実態  
を訴える参加者（28  
日、衆院第一議員会館

した。

同制度改悪で、▽申  
請者に書類提出の義務  
を負わせる▽扶養義務  
の強化▽保護利用者へ  
の就労の強要などが  
盛り込まれています。

全生連の安形義弘会  
長は同省担当者に対  
し、「生活保護は国民  
の命に関わる問題だ」  
と強調し、利用者の実  
態を見ずにつくった同  
法案と保護基準引き下  
げの大臣告示撤回を迫  
りました。  
交渉で、①口頭での  
申請を認める②書類の

不備を申請受理拒否の  
理由にしない③扶養は  
要件としない④指導・  
指示は最小限度にとど  
める―ことを確認しま  
した。

新潟市から参加した  
小林浩一さん（53）は  
「脳こうそくで倒れて  
働けず、保護利用を始  
めた。医者からは冬は  
体を温め夏は水分補給  
を十分するように言わ  
れているが、電気代、  
灯油代がかさみいまで  
もぎりぎりの生活。命  
にかかわる保護費切り  
下げはやめて」と訴え  
ました。

車いすで参加した東  
京都世田谷区の川西浩  
之さんは、住宅扶助の  
引き上げを要求。同省  
担当者は「住宅扶助の  
意見はさまざま聞いて

いるので、これから議  
論を始めるところだ」  
と回答しました。

交渉に先立ち開かれ  
た集会では、中央社保  
協を代表して保団連の  
住江憲勇会長があいさ  
つ。「保護利用者の増  
加は、低賃金労働と雇  
用破壊、所得再分配機  
能の破壊が原因。政治  
がつくり出したもの  
だ」と指摘。「いまや  
るべきことは、保護基  
準の適正化と必要とす  
る人の利用を増やすこ  
とだ」と強調しました。  
日本共産党の高橋ち  
づ子衆院議員が駆けつ  
け、同制度改悪を阻止  
する決意を述べまし  
た。  
同日、全生連と中央  
社保協は議員要請も行  
いました。